

## 令和5年度 特色ある学校づくり推進事業 実績報告書

学校番号(125) 豊田市立旭中学校

## 1 テーマ

郷土を見つめ、郷土に学び、自らの生き方を求める生徒の育成をめざして  
～地域の人・もの・こととの関わりを通して～

## 2 ねらい

- (1) 学年ごとの大テーマのもと、生徒一人一人が個人課題を設定し追究していく活動「学びの時間」(総合的な学習の時間)に取り組み、国際理解・環境・福祉等の今日的課題を、地域の人・自然・文化・産業との関わりを通して追究することにより、自ら学び考える力、自己の生き方を求める力を育成する。
- (2) 地域の福祉施設や保育施設への訪問、他校との交流を通して、世代間、地域間を超えて様々な人と交わり、社会性を高め、人を思いやる心と協調性を高める。
- (3) 他の中学校の生徒との合唱や手紙の交換を通して交流の輪を広げ、相手校の特色を地域の特徴を知るとともに、自校のよさや地域の素晴らしさを見直す機会とする。
- (4) 校内整備員さんに校内整備の一環として学校園(畑)での土づくりや野菜づくりのお手伝いや助言もいただき、学びの時間の一助も担ってもらう。
- (5) 上記1～4の活動を通して地域から学んだことを地域へ発信し、学習の成果を確認し、次へのステップとするとともに、地域の方々への感謝の気持ちを高める。

## 3 活動内容

- (1) 課題を追究する「学びの時間」(総合的な学習の時間)での活動

## &lt;1年生&gt;

- ・「旭のもの・人・ことから、生き方を学ぶ」をテーマに、自分の住む地区で周遊ツアーを行い、地区で働く人から話を聞き、地区で働くことの魅力を発表し合い、小学校で学んだことを深めて、地区の魅力や価値について再認識できた。

## &lt;2年生&gt;

- ・「旭のもの・人・ことと職場体験学習から自分の生き方を探る」をテーマに、職場体験学習を行い、そこで学んだことをまとめながら、自分の生き方について探ることができた。また、ハラペーニョ栽培やT-FACEでの販売など地域の方々と関わる中で学んだことを活かしながら、今後はどのように地域の活性化につなげていくかを探究する。

## &lt;3年生&gt;

- ・「ひろがるあさひ 木活用形」をテーマに、わくわく事業に参画しつつ、地域の団体と連携し協力を仰ぎながら進めてきた。今年度は、旭マルシェだけでなく豊田市のT-FACE、とよしば等で間伐材を使った木工小物を配布したり、自分たちの活動や旭の魅力をまとめたプレゼンを行ったりしながらPR活動を継続し、地域の活性化を目指した。

- (2) 福祉施設訪問、保育施設訪問

- ・3年ぶりに全校生徒が地域の福祉施設に訪問することができた。

## 4 成果と課題

- (1) 学びの時間を通して

- ・旭の「人・もの・こと」など地域素材をテーマにしたり、意見交流を活発に行ったりすることで、生徒の探究的な学びが充実したものになった。
- ・保護者アンケートの「特色ある学校づくり推進事業を活用し、特色ある教育活動を行っているか」の項目について、90%の保護者が「とてもよい」「よい」と回答していることから、保護者にはしっかり理解されている。

- (2) 施設訪問等を通して

- ・全校合唱を披露したり、ゲームやクイズを行ったりしながら福祉施設を利用している方と触れ合いながら、充実した時間を過ごすことができた。

- (3) 「特色ある学校づくり推進事業」に補助員を配置したことについて

- ・校内整備員は、休校中に雑草が生え荒れ放題になってしまったグラウンドの整備を献身的に行っていたおかげで、生徒が支障なく活動することができた。

## 5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・特色ある学校づくり推進事業等の活動の様子を、校長室だよりや学級だよりで保護者に伝えている。ホームページでは、1/20現在「活動の様子」等で逐次紹介したので、今年度は38,900件のアクセスを記録した。